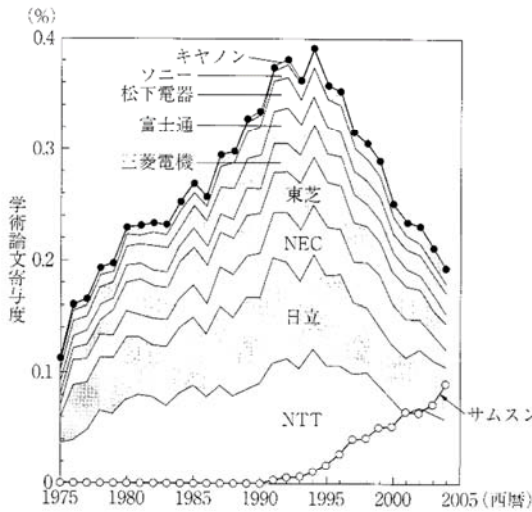


国際特許出願 日本は機械分野で現在健闘中 電子分野で遅れ 問題は基礎研究

日本は、失われた30年を取り戻すためには、もう一度基礎研究に目を向けるべきではないだろうか。

主要電機メーカーの学術論文寄与度の推移



日本の主要電機メーカー9社（NTT、日立、NEC、東芝、三菱電機、富士通、松下電器、ソニー、キヤノン）について、その学術論文寄与度を積み上げていった値の推移。および韓国のサムスン社の学術論文寄与度の推移。なお、学術論文寄与度とは、学術論文数をその母集団の全数（学術論文数）で割ったものである。（出典＝SciSearch+Social SciSearch）
資料：山口栄・『イノベーション 破壊と共鳴』264頁、NTT出版、2006

世界の国際特許出願件数（国別ランキング）

分野別（電気機械・機器）

順位	国名
1	日本
2	中国
3	米国
4	ドイツ
5	韓国

分野別（電気通信技術）

順位	国名
1	中国
2	米国
3	日本
4	韓国
5	スウェーデン

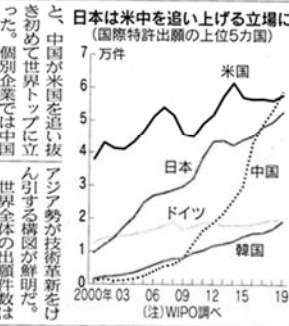
日本経済新聞 2020.4.8

国際特許出願 中国が初の首位

【シネーブ】細川倫太郎 世界的な特許出願件数が増え、中国が初めて世界トップに立った。WIPPOが7日発表した2019年の特許出願件数による国際特許出願件数による

と、中国が米国を追い抜いた。世界全体の特許出願件数は、前年比5%増の26万5800件と、過去最多を更新した。デジタル通信やコンピュータ技術分野で、中国の企業が増え、米国に追いつき、韓国を抜いた。アジア勢が技術革新をけん引する構図が鮮明だ。世界全体の特許出願件数は、前年比5%増の26万5800件と、過去最多を更新した。デジタル通信やコンピュータ技術分野で、中国の企業が増え、米国に追いつき、韓国を抜いた。アジア勢が技術革新をけん引する構図が鮮明だ。世界全体の特許出願件数は、前年比5%増の26万5800件と、過去最多を更新した。デジタル通信やコンピュータ技術分野で、中国の企業が増え、米国に追いつき、韓国を抜いた。アジア勢が技術革新をけん引する構図が鮮明だ。

規格「5G」や人工知能（AI）など先端技術の開発競争が激化し、企業や研究者が知的財産権の保護を強化している。出願のうち52%はアジアからで、欧州と北米はそれぞれ23%と続く。首位の中国の出願は11%増の5万8990件。1999年には766件年間急増したが、この20年間で急増した。中国政策はハイテク産業政策で打ち出し、補助金を自国メーカーに集中投入している。近年はドローンやAI、再生医療などの分野で存在感が増している。米国は1978年以來40年間首位を維持してきたが、今年5万7840件（3%増）と2位に転落した。日本は5万2660件（6%増）と前年より1.9ポイント下がり、19年12月期



昨年5万8990件 米を抜く
アジア、技術革新けん引

2019年の企業の特許国際出願件数

順位(前年)	企業名	件数
1(1)	華為技術（ファーウェイ、中国）	4,411
2(2)	三菱電機（日本）	2,661
3(6)	サムスン電子（韓国）	2,334
4(4)	クアルコム（米国）	2,127
5(17)	OPPO（オッポ、中国）	1,927
6(7)	京東方科技集団（BOE、中国）	1,864
7(9)	エリクソン（スウェーデン）	1,698
8(6)	平安科技（中国）	1,691
9(10)	ボッシュ（ドイツ）	1,687
10(8)	LG電子（韓国）	1,646

(注)WIPPO調べ

の研究開発費が1317億（約2兆円）と前年同期に比べ3割増えた。5Gの分野で積極的に投資している。中国スマートフォンの大手OPPO（オッポ）は低価格で機能性の高い製品の開発に力を入れ、前年の17位から5位に躍進した。2位の三菱電機は日本企業で唯一トップ10入りした。国際特許出願で中国が首位となったことで、米中の技術覇権争いは一段と激しくなりそう。3月のWIPPOの事務局長選挙で米国は日欧などに働きかけ、有力視された。中国候補の当選を阻止した。トランプ米政権は中国の知財の窃取を非難し、中国人トップが護化を訴え指標とされる。生ずれば知財の重要な情報に中国に流れかねないとの危機感を強めた。一方、中国は「知財強国」を宣言し、莫大な研究開発費を投入している。19年1月には最高級の知財を紛争を専門に扱う法廷を設けた。米中企業は有力スタートアップへの出資や買収も増やしている。日本はいち早く有望な技術を見つけた投資を増やさなければ競争から脱落するとの懸念が強まっている。国際特許は特許協定（PCT）に基づく制度で、1つの加盟国への出願で複数国に出願するのと同じ効果がある。企業や大学の技術力や国際化を訴える指標とされる。